



## 「印籠」

父の影響で良く時代劇を見ていました。遠山の金さんや銭形平次等は今でもオープニングやエンディングの曲を口ずさめるほどです。さて水戸黄門といえば「この紋所が目に入らぬか～！！」でおなじみの印籠を差し出すシーンが有名です。物語の後半部分になると、格さんが印籠を取りだし、あの決めセリフを言い放ちます。すると、それまで暴れていた悪役たちが皆、ひれ伏して降参します。何故、そんな風になるのでしょうか？印籠とは、そもそも薬などを携帯するために腰にぶら下げる小箱の事です。当然ですが印籠そのものに、人々がひれ伏す力はありません。印籠に刻まれている、家紋から放たれる徳川家という名前、そして水戸光圀という名前に皆、ひれ伏したのです。

現代においても、人々は名前の持つ力に圧倒されます。ブランド物の製品、俳優やタレント、スポーツ選手等にあこがれを抱きます。何故、ブランド物を求めたり有名企業に勤めたり、有名人のサイン等を人は欲するのでしょうか？それは自分自身のステータス(地位)になるからです。自分自身のステータスになるものが無いと感じる時、人はみじめになり、落ち込みます。自分は誇れるものが何も無いと感じるからです。そうすると人は自分よりも高い地位にいる人々を探し出し、自分にはいかに何も持たないか証拠を集めだすようになります。私達が今日学んだことは、「自分は何も持っていない」は思い込みです。それは自分に与えられた最高のプレゼントを手放してしまっていると、今日の礼拝で学びました。そう私達に与えられているのはイエス・キリストのお名前です。

その名前を私達に届けるためにイエス様は地上に来られました。イエス様は十字架に掛かられて死なれました。しかし三日目によみがえられたのです。死を打ち破る力。どんな名前が束になってかかって来てもこのよみがえりの力に勝るものはありません。こんな素晴らしい名前を私達は頂いたのです。私達は愛されています。これが私達の誇りです。そして主はそのイエスの名を一人でも多くの人に伝える為に私達を大使として任命したのです。私達が持っている笑顔、優しい言葉、生き方、趣味、お祈り、トラクト配布、一つ一つの奉仕、つまり私達の存在がイエス様のお名前を「証」するのです。皆が主を礼拝するに至る事が私達の大使としての働く理由です。「あなたたは私の誇りである」と主は言われます。だから私達も主を誇りとして生きていく事ができるのです。これがキリストの言葉の意味を知るという事です。共に主をあがめて前進してまいりましょう。

